

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位修得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容：

8月16日(土)	10:00~10:30	開講あいさつ
	10:30~12:00	オリエンテーション
	13:30~14:30	美術館と学芸活動
	14:40~16:30	ミニ企画展実習(1 概論)
8月18日(月)	10:00~12:00	美術品取扱い実習・調書作成(平面)
	13:00~15:00	美術品取扱い実習・調書作成(立体)
	15:30~16:30	所蔵作品展ゼミナール(第3・4室)
8月19日(火)	10:00~12:00	美術品取扱い実習・調書作成(平面)
	13:00~15:00	美術品取扱い実習・調書作成(立体)
	15:30~16:30	所蔵作品展ゼミナール(彫刻・第1・2室)
8月20日(水)	10:00~12:00	ミニ企画展実習(2 企画-討議)
	13:30~16:30	ミニ企画展実習(3 企画-集約)
8月21日(木)	10:00~12:00	ミニ企画展実習(4 企画-立案)
	13:30~16:30	ミニ企画展実習(5 企画-製作)
8月22日(金)	10:00~12:00	美術館のボランティア活動
	13:00~15:30	ミニ企画展実習(6 グループ発表)
	15:30~16:30	まとめとレポート作成

受入先：愛媛大学・関西学院大学・京都精華大学・県立広島女子大学・四国学院大学・
宝塚造形芸術大学・東京工芸大学・徳島文理大学・広島女学院大学
広島市立大学・広島大学・広島文教女子大学・立命館大学

13大学・計33人

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、2008年度当館の開館40周年を記念する特別展を所蔵作品によって企画する、という課題にとりくんだ。人文系、芸術系それぞれの学生がバランスよくセンスを発揮し、討議・製作を進めたグループは内容の濃い成果をあげた。出品作品は1点のみで、提案された展覧会名、出品作品を列挙する。

①	巖島図屏風展—あなたも江戸時代の宮島を旅してみませんか 作者不詳<巖島・鞍馬図>
②	広島生変図展 ~生変から今~ 平山郁夫<広島生変図>
③	鬨光 あなたは、ありのままの自分を見たことがありますか。 鬨光<帽子をかむる自画像>
④	圓鏝勝三展 —広島に愛された作家とその人生— 圓鏝勝三<星羅>
⑤	巨匠の見た広島 平山郁夫<広島生変図>

この「ミニ企画展実習」の課題のひとつとして、出品作品に関連したオリジナルミュージアムグッズの提案がある。今年度は上記①を企画したグループから出された2点のグッズがアイデア、実現性ともにハイレベルであった。写真とともに概略を紹介する。

1 <巖島・鞍馬図>の巖島図を用いた「もみじまんじゅう」の展覧会限定パッケージ。鹿の頭を起こした落しぶたが内側にあって、そこに会名、会期など展覧会情報が印刷されている。



2 広島では一般的な各社共通バスカードを2枚セットにしたカードケース。<巖島・鞍馬図>の巖島図を鹿のシルエットに抜き、くずし文様のトレーシング（会名・会期入り）で封をする。



（博物館実習統括担当者：知念 理）